

七転一起

Life is a series of choices～人生は選択の連続だ～



沖縄市立美里中学校
進路だより 第32号
2022年11月2日
進路指導部

中部商業高校の学校説明会に参加してきました

1964年に宜野湾市に設立された中部商業高校には4つの学科があります。

総合ビジネス科（3クラス 120名）

普通科目に加え、簿記や情報処理といった商業科目を学ぶことができます。1年生では簿記、情報処理、ビジネスコミュニケーション、2年生ではマーケティング、3年生では販売実習などを通してビジネスの実践に対応できる人材の育成を目指します。商品開発の授業では、「ローソン沖縄」の商品開発プロジェクトに「アイデア商品」を応募してグランプリを4年連続受賞しています。

情報ビジネス科（2クラス 80名）

普通科目に加え、プログラミングやビジネス情報など情報分野に特化した学習をおこないます。Webデザインや情報処理などマルチメディアを活用した表現力、情報倫理に関する判断力、グローバルな高度情報通信ネットワーク社会の構築を目指して、自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を育成します。

国際ビジネス科（1クラス 40名）

簿記、情報処理などの商業科目に加え、英会話や英語表現、中国語など外国語について勉強します。学科行事として1年にJICA研修、2年に研修旅行、3年にテーブルマナー講習を実施しています。沖縄県内の商業高校でアメリカへ研修旅行に行くのは中部商業と那覇商業だけだそうです。実践的な英語力、コミュニケーション能力の育成を目指します。

生涯スポーツ科（1クラス 40名）

全員が野球、陸上競技、女子バレー、女子バスケットのいずれかの種目を選択し、スポーツを専門的に学ぶことができます。スポーツに関する学科が設置されているのは、県内では中部商業と那覇西高校だけだそうです。生涯を通してスポーツを継続し、スポーツの推進及び発展に寄与するための幅広い知識や高度な技術、リーダーとしての資質能力の修得を目指します。1年にキャンプ実習、2年にマリンスポーツ実習でスキューバダイビング資格を取得、3年でスキー実習を実施します。生涯スポーツ科も商業科目を学習し、推薦、一般、第2次募集のいずれも実技テストが課されます。

高校卒業後の進路としては、大学進学の場合は総合型選抜での受験者が多く、県内私立大学や専門学校、県内企業への就職が多いとのことでした。プロスポーツ選手も多く輩出し、西武ライオンズの山川穂高選手や女子バレー元日本代表の座安琴希選手などは中部商業高校出身です。